

林業士補 認定研修内容

別表1 座学研修

森づくりの基礎

項番	項目	内容
1	針葉樹人工林施業の目的	施業の目的を理解し、生産目標・目標林型・施業体系の概念を学ぶ
2	主要造林樹種（針葉樹）	主要造林樹種の特徴、分布、造林適地を知る。適地適木の概念を学ぶ
3	地拵え	地拵えの目的、下刈り作業の方法を学ぶ
4	植栽	植栽のデザイン（密度・配置など）、植栽作業の方法を学ぶ
5	下刈り	下刈りの目的、下刈り作業の方法を学ぶ
6	つる切り	つるの種類と被害形態、つる切り作業の方法を学ぶ
7	除伐	除伐の目的、除伐作業の方法を学ぶ
8	林木の成長	伸長成長と樹形の形成、肥大成長と年輪形成を学ぶ
9	森林の発達と密度	森林の発達と本数密度の関係、混み合い度の表し方を学ぶ
10	各種の間伐方法	間伐の目的、様々な間伐方法の考え方と特徴を学ぶ
11	間伐の進め方	間伐計画の立て方、間伐作業の進め方を学ぶ
12	枝打ち	枝の発達様式、枝打ちの目的、枝打ち作業の方法を学ぶ

別表2 実技研修

間伐の選木技術

項番	項目	内容
1	林分状態の評価	林分調査の結果から本数密度や林分材積などを求める。その結果から、混み合い度を計算。その結果から、林分の状態（間伐の必要性・緊急性を設定する。
2	目標林型の設定	林分の現況などから生産目標を考え、目標林型を設定する。
3	選木	目標林型に到達させるための選木を行う。
4	選木結果の取りまとめと評価	選木の結果から間伐率などを計算する。間伐率や胸高直径階分布などから、選木結果を自己評価する。

測樹

項番	項目	内容
1	測定器具の使い方	輪尺、測高桿、パーテックスなどの使い方を習得する。
2	調査プロットの作成	演習林分で標準地を選び、プロットを作成する。ポケットコンパスの使い方も習得する。
3	林分調査	プロット内の立木の胸高直径、樹高を測定する。プロットレスサンプリングによる調査も実施する。
4	データ解析	測定したデータを解析する。データから樹高曲線を作成し、樹高曲線式を求める。さらに、平均樹高、本数密度、林分材積、収量比数、相対幹距比を求める。解析結果から地位級、混み合い度などを評価する。